

図書館だより

6月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

○印 休館日
月曜日
月末館内整理日(30日)

今月の新刊図書案内

一般図書

フレッシュマンのための
読むクスリ
ニッポン秘境館の謎 田中 聡
「日本人」という病 河合 肇
ときどき、せつない 浅野 宏
大江戸生活体験事情 渡辺 正二
田中真紀子はなぜ人の 渡辺 正二
心をつかむのか 渡辺 正二
ひとり歩きの鎌倉 渡辺 正二
アマゾン漂流日記 坪井 伸吾

最後のサヨナラ ジョイ・リチャードソン
サヨナラサヨナラ 淀川 長治
好感度◎自己紹介 吉田 照美
大阪ことば学 尾上 圭介
俳句の見える風景 後藤 比奈夫
「橋のない川」を読む 住井 素
ゴルド・マイク 赤川 次郎
源氏に愛された女たち 渡辺 淳一
いよ華やぐ・上・下 瀬戸 内寂聴
私 津島 佑子

この国の失敗の本質 柳田 邦男
定年で男は終わりののか 柳田 邦男

私の中のもう一人の私 諸井 薫
動物園にできること 家田 莊子
読むだけで絶対やめられる 森口 秀志
禁煙セラピー アレン・カー
インターネット「超」活用 川端 裕人
おやつ処方箋 野口 悠紀雄
農の時代がやってきた 山下 惣一
福祉ビジネス見えてきた 竹島 ぼてち

巨大マーケット 大内 俊一
美術館へようこそ 大内 俊一

科学は探偵する 聖書物語
新聞紙の実験 科学は探偵する

こんなにあるぞ、せんの種類！
なかよしガーデニング
明るい漢字のはなし
ふるさとをよむ俳句
ムジナ探偵局
心の国境をこえて
むつたんの海
ぼくねむれないよ！
おとなってじぶんではばかり
ハンドルをにぎって

外一〇八冊

縮尻鏡三郎 上 佐藤 雅美
母に捧げるラストバラード 武田 鉄矢
十七歳 井上 路望
母業失格 井上 朝子
ステラの遺産 井上 朝子

ジェラルドのパーティ ロバート・クレーヴァー
ロバート・クレーヴァー 外二一七冊

児童図書

市立図書館 今月の一冊

『ふしぎな化学の世界』
岸本泰延 著 あすなろ書房
各界の著名人が母校の小学校で授業をする、NHK教育テレビシリーズ「授業」の特選集。昭和電工で多くの新しい素材・製品を生み出した著者が、「石油と紙おむつ」と題して、石油化学についてやさしく語る。

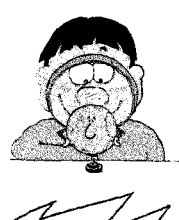
『本当は聞こえていた ベートーヴェンの耳』
江時久 著 NTT出版
あなたの耳の奥で、中耳の空間に宙づりになった「あぶみ骨」が震えている。ベートーヴェンの聴力が「あぶみ骨」固着の伝音難聴であった証拠を提示する。いま説き明かされる「楽聖」伝説の謎。

「こどもにすすめたい本」
展示会

平成10年に出版されたこどもの本のうち、山梨県内の公共図書館が推薦した図書100冊を、幼児から中学生まで対象別に展示します。貸出しも行います。

期 間 6月5日(土)～18日(金)
場 所 市立図書館ロビー
後 援 山梨県立図書館
※ 会場で目録を差し上げます。

我が子の関心と意欲を高めるために



心の健康シリーズ(74)

我が子が「かしく、たくましく育ってほしい」と思うものは、子を持つ親の願いです。

そのためには、親はどのように子育てし、どのように接したらよいか記しますので参考にしてください。

親は子どもと一緒に学ぶ態度が必要です。子どもは胎児の時から学ぶ力を持っているといわれます。子どもは出生すると母親からの授乳や抱っこや言葉かけなどを通して色々なことを学習し、身につけていきます。

やがて歩くようになって、散歩やお使いなどに掛けると道端に咲いている花や草を見つけ「お母さん、あの花なんていうの」とか「あの草なんていうの」とか聞くことがあります。するとお母さんは「あれは、たんぽぽよ」とか「あれは、すみれ草っていうのよ」と教えますが、これは子育ての観点からすると十分と思われず、意欲を持たせるためには、親が知っているからといって、すぐ答えることより、たとえ知っていても知らないふりをして「さあ、何という花でしょうね、家に帰って調べて見ようか」といい、家に帰って植物図鑑を子どもに与えて調べさせるのです。やがて子どもが似た花を見つけ「お母さん、この花かな」と興味をもった声で聞いてきます。

お母さんは「ちょっと違うよう

ね」といって本を覗き込む、子どもは更に調べを進める。あくまでも子どもが主体で、子どもがたんぽぽを見つけ「これ、お母さん」といってたんぽぽを指す。お母さんも初めて知った顔して「そう、そう、これ、これ、なんて書いてあるの」といって、字の読める子ならたんぽぽと読ませ(読めない子には読んでやり)花の名前を覚えさせる。

そして、良く頑張ったねと褒めながら一緒に喜んであげる。子どもは、嬉しくなると、これからも色々なものに関心を持ち意欲を高めていくでしょう。

これは一例ですが、このような親の態度がやがて子どもの自主性を高め、学ぶ方法を身につけ、あらゆることに挑戦するたくましい子に育っていくのです。

子どもの意欲や関心を高めるためには、親の根気と時間が必要です。

幼児期までの子育ては、その子の将来の大半を決定づけると思われるほど大切なものです。この時期に身につけられたことは、生涯にわたって影響するものですから、親は責任を持って育児に当たることが大切です。

子どもの悩みことは
教育相談室へ
(八潮屋台展示庫前)
月 金 午前9時
午後4時30分
☎(43) 1323